

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

愛媛県宇和島市 宇和島市立津島病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	透	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
75,827	8,395	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
88	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	128
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
60	40	100

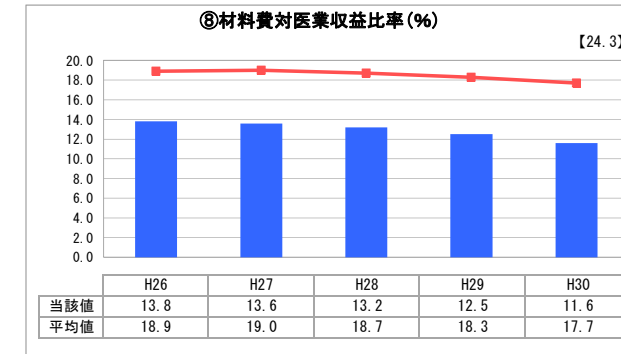
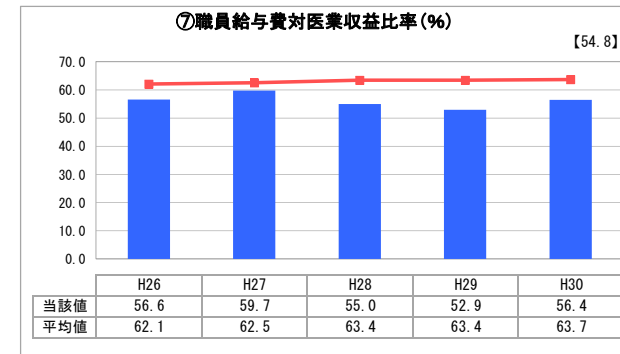
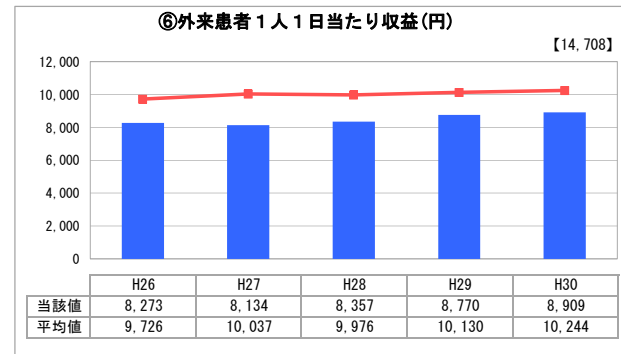
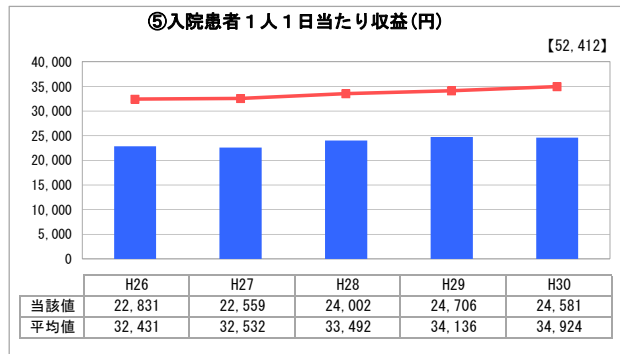
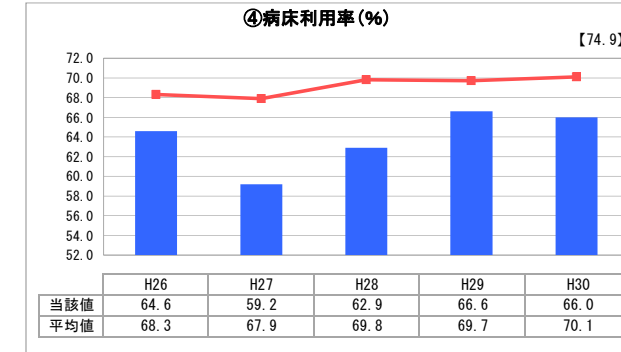
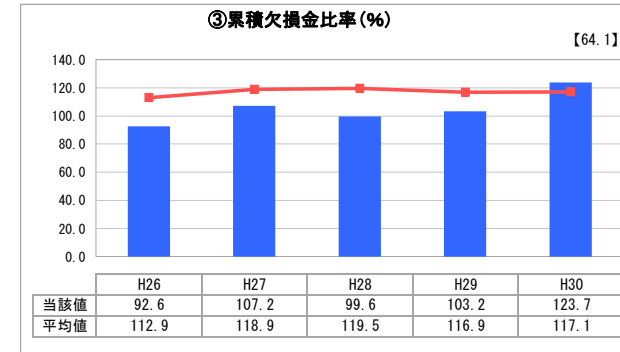
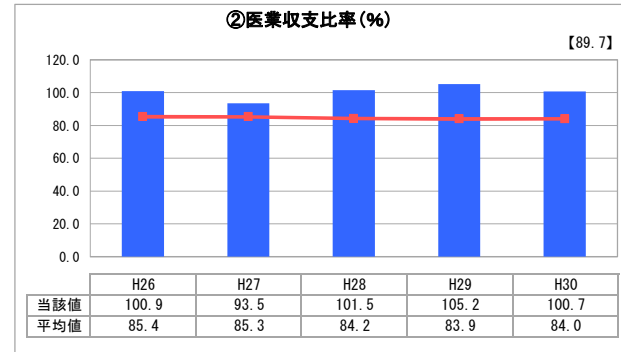
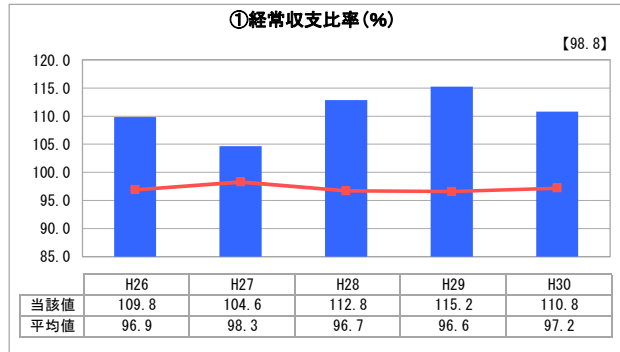
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## 1. 経営の健全性・効率性



## I 地域において担っている役割

人口減少・少子高齢化が進む津島地区において、診療科目を14科備え、100床を超える入院機能を持つ総合的医療機関は当院のみである。また、救急患者の受入・在宅復帰に向けたリハビリテーション・退院後の訪問診療等により、住民が地域内で安心して医療・療養を受けられるよう体制を整備している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

慢性的な医師・看護師不足により、一般病床88床のうち28床を休床している。その再開の見通しが立たず、病床利用率は低調であるものの、土曜診療・地域包括ケア病床の維持充実をはじめとする経営改善への取組により、経常収支比率・医業収支比率とも100%を上回っている。しかしながら、長年にわたる累積赤字は多額であることに加え、会計制度改正に伴い平成25年度より、計上不足分の退職手当引当金を分割計上することになったため、欠損金は10億円を超えており、全国平均を上回る結果となった。

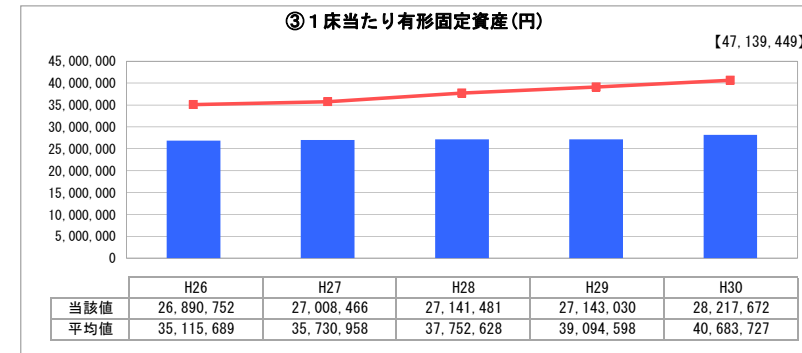
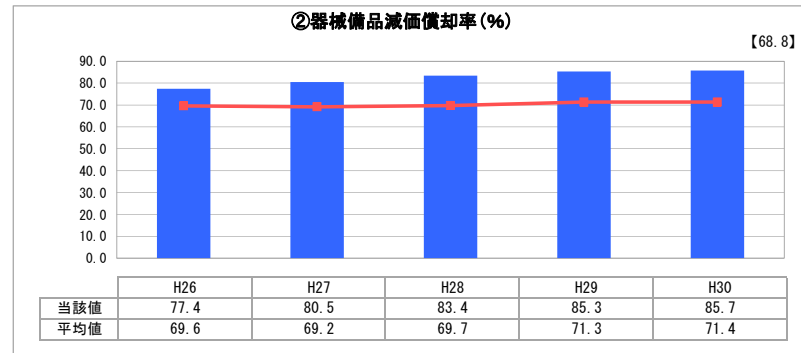
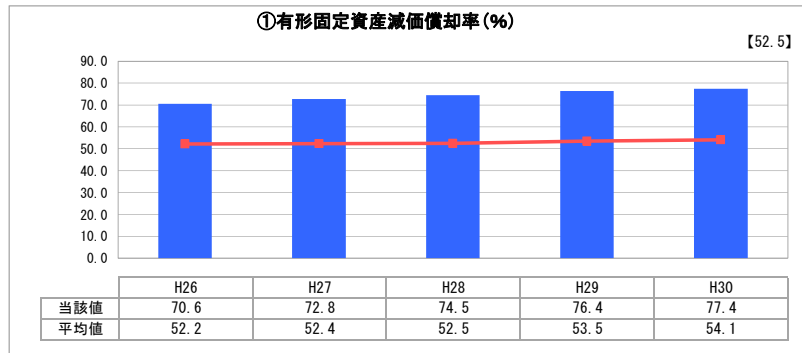
### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産の全般にわたり、老朽化が進んでいる。特に、器械備品については80%を超えており早急な更新が必要だが、投資できる資金に限られているため、優先順位を定めて小幅に更新せざるをえない。1床あたりの有形固定資産額は、類似病院の平均値を下回っており、過大投資とはなっていない。

### 全体総括

経営改善への取組等により、経常収支比率・医業収支比率とも100%以上を維持しているが、医師等が慢性的に不足する中で多額の累積欠損金を抱えており、今後の経営は決して楽観できる状況ではない。累積欠損金の解消や老朽化資産の計画的更新を実現するためには、更なる経営改善・不足する医師等の確保に向けた取組強化などが求められており、安定的に利益を出せる経営体制の確立が必要である。

## 2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。